

公私の充実が大学職員としての成長につながる

私は令和4年4月1日付で採用となり、医学部・病院事務部会計課病院担当係に配属されました。附属病院で使用する医療機器等の調達(契約)が主な職務内容です。

採用当初は病院及び契約について全く知識のない状態でしたが、周りの上司や先輩方のサポートを受け、担当できる業務が増えてきました。多様な職種の方との連絡・調整や国立大学法人ならではの手続きなど難しい場面も多く、まだまだ大学の職員として勉強が必要であることを感じながら日々を過ごしています。

この仕事の魅力の一つとして、大学職員でないとできないような経験が出来るということが挙げられます。幅広い分野の先進的・専門的なものや考え方に触れる経験は「大学」という場であるからこそその特色であり、私にとって仕事のモチベーションになっています。

また、暦通りの勤務スケジュールが基本なので、プライベートも充実させることが出来ています。仕事とプライベートをそれぞれ充実させることで、まず一人の人間として、延いては大学職員として成長していけると思います。

